

厚生労働科学研究費補助金 (厚生労働科学特別研究事業)
研究報告書

表3 臓器移植に関して知りたい情報

(単位：人 (%))

	全体 (n=611)	東京 (n=205)	名古屋 (n=201)	大阪 (n=205)
実際の手続き	18 (2.9)	6 (2.9)	5 (2.5)	7 (3.4)
費用	25 (4.1)	11 (5.4)	10 (5.0)	4 (2.0)
提供できるのか	10 (1.6)	5 (2.4)	3 (1.5)	2 (1.0)
制度・システム	38 (6.2)	5 (2.4)	21 (10.4)	12 (5.9)
統計情報	18 (2.9)	7 (3.4)	8 (4.0)	3 (1.5)
レシピエント	6 (1.0)	1 (0.5)	2 (1.0)	3 (1.5)
ドナー・ドナーファミリー	13 (2.1)	4 (2.0)	4 (2.0)	5 (2.4)
特定の臓器の移植	17 (2.8)	4 (2.0)	9 (4.5)	4 (2.0)
その他	50 (8.2)	14 (6.8)	13 (6.5)	23 (11.2)

*自由回答で得た回答を内容に応じて分類した

表4 家族や知人と臓器移植について話しをするときに必要と考えられる情報

(単位：人 (%))

	全体 (n=611)	東京 (n=205)	名古屋 (n=201)	大阪 (n=205)
実際の手続き	20 (3.3)	7 (3.4)	7 (3.5)	6 (2.9)
費用	4 (0.7)	1 (0.5)	2 (1.0)	1 (0.5)
提供できるのか	7 (1.1)	2 (1.0)	3 (1.5)	2 (1.0)
制度・システム	18 (2.9)	6 (2.9)	7 (3.5)	5 (2.4)
統計情報	18 (2.9)	8 (3.9)	6 (3.0)	4 (2.0)
レシピエント	11 (1.8)	3 (1.5)	6 (3.0)	2 (2.0)
ドナー・ドナーファミリー	15 (2.5)	8 (3.9)	3 (1.5)	4 (2.0)
体験談・事例	16 (2.6)	5 (2.4)	7 (3.5)	4 (2.0)
医療	10 (1.6)	3 (1.5)	1 (0.5)	6 (2.9)
特定の臓器の移植	0	0	0	0
その他	6 (1.0)	1 (0.5)	3 (1.5)	2 (1.0)

厚生労働科学研究費補助金 (厚生労働科学特別研究事業)
研究報告書

表 5 印象に残ったメディア報道

(単位 : 人 (%))

	全体 (n=471)	東京 (n=158)	名古屋 (n=163)	大阪 (n=150)
15歳未満者の移植	12 (2.5)	4 (2.5)	6 (3.7)	2 (1.3)
渡航移植（事例を含む）	51 (10.8)	16 (10.1)	27 (16.6)	8 (5.3)
M 医師・德州会宇和島病院	141 (29.9)	49 (31.0)	39 (23.9)	53 (35.3)
病気腎移植	134 (28.5)	49 (31.0)	47 (28.8)	38 (25.3)
臓器売買	26 (5.5)	8 (5.1)	12 (7.4)	6 (4.0)
特定の臓器の移植	18 (3.8)	4 (2.5)	5 (3.1)	9 (6.0)
レシピエント	2 (0.4)	2 (1.3)	0	0
医師・医療	9 (1.9)	1 (0.6)	4 (2.5)	4 (2.7)
システム・制度	8 (1.7)	2 (1.3)	4 (2.5)	2 (1.3)
ドナー臓器の廃棄	1 (0.4)	0	1 (0.6)	1 (0.7)
その他	3 (0.6)	0	0	3 (2.0)

* 自由回答で得た回答を内容に応じて分類した

* 回答率の算出には、「印象に残ったメディア報道があった」との回答者を分母とした

厚生労働科学研究費補助金 (厚生労働科学特別研究事業)
研究報告書

表 6 臨器提供に対する意識

(単位 : %)

	全体 (n=611)	東京 (n=205)	名古屋 (n=201)	大阪 (n=205)	全国* (n=1,727)
臓器提供意思表示カード (知っているの回答%)	89.3	86.8	90.5	90.2	66.4
臓器提供意思表示カードの入手 方法 (知っているの回答%)	34.5	31.2	32.3	40.0	
臓器提供意思表示カードの所持 (持っているの回答%)	12.3	11.7	10.9	14.1	8.0
脳死判定後の臓器提供に対する 本人の意思 (提供したいの回答 率 : %)	43.4	41.5	40.8	47.8	41.6
心停止後の臓器提供に対する本 人の意思 (提供したいの回答 率 : %)	44.0	43.4	42.8	45.9	42.4
脳死判定後の臓器提供に対する 家族の意思の尊重 (尊重するの回答率 : %)	65.6	62.4	65.2	69.3	70.8
心停止後の臓器提供に対する家 族の意思の尊重 (尊重するの回答率 : %)	75.1	71.7	75.1	78.5	71.3
15歳未満者の臓器提供 (何らかの手段で臓器提供を認 めるべきとの回答率%)	61.4	62.4	58.2	63.4	68.0
家族や知人との臓器提供に関す る会話の経験 (したことがあるの回答率%)	41.9	39.5	44.3	42.0	

*全国のデータは、内閣府による「臓器移植に関する意識調査」(2006年実施、回答率 57.6%)

電話番号 : _____

突然お電話を差し上げて、申し訳ございません。私は東邦大学の_____と申します。

厚生労働省の研究班の研究として、臓器移植に関するに対する皆さんの考え方やご意見をお聞きして、今後の対策を実施する上で役立てたいと思います。お聞きした内容は、この研究の目的で用いる他には使用しませんので、ご協力をお願ひいたします。

(質問されたときに使用する)

- * 10分程度のインタビューです。
- * この調査では、数字の組み合わせを電話番号として用いましたので、電話帳に掲載されていない方にも、電話を差し上げています。
- * 厚生省の研究班のうち、今回の調査を実施しているのは「移植医療に対する情報提供のあり方に関する研究」班です。私達は、この研究班によってこの調査を実施しています。

・お年が上から_____番目の方に、調査をお願いしたいと思います。

その方はご在宅でいらっしゃいますか。

(本人) ご協力願えますか。 (拒否)→ありがとうございます。

(不在)→いつごろお電話をしましたら、その方とお話しできるでしょうか。

<在宅時確認>→では、____月____日の____時頃お電話させていただきます。

*差し支えなければ、後日お電話するとき「どなた」と申し上げればよいか、お教えください。

よろしくお願ひいたします。

*指定日の電話の際に、表紙の説明を読んで、協力の確認を取ること。

A. まず、最近の「臓器移植」に関するメディア報道について伺います。

問1 あなたは移植医療についての情報をどのような媒体から得ることが多いですか。読み上げますので、「はい・いいえ」でお答えください。（「はい」の番号に○をつけてください）

- 1. 新聞
- 2. テレビ
- 3. 雑誌
- 4. 本
- 5. インターネット
- 6. 医療関係者
- 7. その他()

問2 移植医療について自分の知りたい情報が得られますか。

- 1. 得られる
- 2. 得られない

問3 移植医療について知りたい情報とは何ですか。具体的に教えてください。

問4 移植医療について情報を得たいと思ったときに、最初に使う媒体は何ですか。

問5 最近の、臓器移植に関するメディア報道で印象に残ったものがありますか。

- 1. ある
- 2. ない

＜ある＞と回答された方

問5-1 それは、どのようなものですか。

覚えておられる範囲で結構です。なるべく具体的な内容をお話し下さい。

問5-2 その報道から、臓器移植についてどのような印象を持たれましたか。

- 1. 肯定的な印象を持った
- 2. 否定的な印象を持った
- 3. 特にどちらとも言えない

問5-3 その報道の印象を、具体的にお話し下さい。

B. 臓器移植全般について伺います。

問6 臓器提供意思表示カードのことを知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

問7 臓器提供意思表示カードの入手方法を知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

問8 あなたはこのカードを自分で持っていますか。ご自分で記入したものを持っているか否かでお答えください。

1. 持っており常時携帯している
2. 持っているが常時携帯はしていない
3. 持っていない

<1. 持っており常時携帯している、2. 持っているが常時携帯はしていない>と回答された方

問8-1 カードを持つきっかけは、何ですか。

<3. 持っていない>と回答された方

問8-2 あなたがこのカードを持っていないのはどのような理由からですか。

これ以降は、<全員>がご回答下さい

問9 あなたは仮にご自分の心臓が停止した後に、臓器の提供をしたいと、いま現在思いますが。次に申し上げる中で、ご自身の意見に最も近いものを1つお答えください。

1. 提供したい
2. どちらかといえば提供したい
3. どちらかといえば提供したくない
4. 提供したくない
5. どちらともいえない
6. わからない

問10 あなたは仮にご自分が脳死状態と判定された後に、臓器の提供をしたいと、いま現在思いますが。次に申し上げる中で、ご自身の意見に最も近いものを1つお答えください。

1. 提供したい
2. どちらかといえば提供したい
3. どちらかといえば提供したくない
4. 提供したくない
5. どちらともいえない
6. わからない

問11 仮に、あなたのご家族の誰かの心臓が停止し、死亡と診断された際に、その方が臓器提供の意思を意思表示カードなどの書面によって表示していた場合、あなたはその意思を尊重すると思いますか。次に申し上げる中で、ご自身の意見に最も近いものを1つお答えください。

1. 尊重する
2. たぶん尊重する
3. おそらく尊重しない
4. 尊重しない
5. そのときになってみないとわからない

問12 仮に、あなたのご家族の誰かが脳死状態と診断され、脳死状態からの臓器提供の意思を意思表示カードなどの書面によって表示していた場合、あなたはその意思を尊重すると思いますか。次に申し上げる中で、ご自身の意見に最も近いものを1つお答えください。

1. 尊重する
2. たぶん尊重する
3. おそらく尊重しない
4. 尊重しない
5. そのときになってみないとわからない

問13 あなたは、これまでに、ご家族や親しい方のうちどなたかと臓器提供について話をしたことがありますか。

1. 話をしたことがある
2. 話をしたことはない

問14 ご家族や親しい方のうちどなたかと臓器提供について話すために、どのような情報があつたらよいと思いますか。

問15 15歳未満の者からの脳死での臓器提供は認められておらず、重い心臓病などの小さいお子さんへの移植ができない状況にあります。あなたは、このことについてどう思いますか。次に申し上げる中で、ご自身の意見に最も近いものを1つお答えください。

1. 臓器移植ができないのはやむを得ない
2. どちらかといえば臓器移植ができないのはやむを得ない
3. どちらかといえば臓器移植できるようにすべきだ
4. 臓器移植できるようにすべきだ
5. どちらともいえない
6. わからない

問16 15歳未満の者からの臓器提供について、あなたはどう思いますか。次に申し上げる中で、ご自身の意見に最も近いものを1つお答えください。

1. 本人の意思を尊重すべき
2. 適正な判断をできないので、家族を含む他のものが代わって判断すればいい
3. 適正な判断をできないので、臓器提供を認めるることはできない
4. その他()
5. わからない

問17 1997年に施行された臓器移植法では3年後を目処に見直しがなされることになっていますが、いまだなされていません。これについてはどのように思われますか。次に申し上げる中で、ご自身の意見に最も近いものを1つお答えください。

1. 早急に見直しをすべきだ
2. 慎重に議論をしながら、1年程度の時間をかけて見直しをすべきだ
3. 今は見直しをすべき時期ではない

＜1. 早急に見直しをすべき、2. 慎重に議論をしながら、見直しをすべき＞と回答された方
問17-1 どのような点について見直しを図るべきだとお考えですか。具体的にお答えください。

C. 最後にご自身の事をお教えください。

F1. 性別 1. 男性 2. 女性

F2. 年齢はいくつですか。満年齢でお答えください。 () 歳

F3. ご職業は何ですか。 [自由回答]

F4. お住まいはどちらですか。区名でお答えください。 () 区

F5. 移植医療や臓器提供に対して、どの程度関心がありますか。

ご自身が「とにかく何でも知りたい」と思う場合を100%として、数字でお答え下さい。
() %

F6. 家族や知り合いの方で、臓器移植が必要な方がいますか？ 1. いる 2. いない

「いる」と回答された方： 誰（回答者からみた関係）()
必要な臓器 ()

F7. 臓器移植全般、あるいはこの調査についてのご意見等ありましたらお聞かせください。
[自由回答]

以上で調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

今回ご協力いただきました調査について、ご質問等がございましたら、
東邦大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野までご連絡ください。

電話番号：03-3762-4151 内線2415

*必ず、書き留めて貰ってください。

些少ですが、回答して頂いた御礼として、クオカードをお送りしたいと存じます。

また、ご希望でしたら、調査の報告書をお送りしたいと思います。

→ なお、お送りするため、ご住所とお名前を教えて頂かなくてはなりません。謝礼や報告書をお送りした後には、責任を持って破棄させて頂きますので、お教え下さい。

〒 _____

ご住所：_____

お名前：_____